

未来へ語り継ぎたいものがある

工学部広報

平成20年7月17日

2008 No.223



編集: 日本大学工学部広報委員会
発行: 日本大学工学部 TEL (024) 956-8614
〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1
http://www.ce.nihon-u.ac.jp/
E-mail koho@ao.ce.nihon-u.ac.jp



工学部では、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」を学部事務局と環境保全・共生共同研究センター、次世代工学技術研究センターの3施設で取得しています。環境保全に携わるものとして環境負荷の低減と循環社会の実現に向けて寄与していきます。

あなたとともに
100万人の仲間とともに



2008.4.17撮影 新入生集合写真

工学部発 人と地球の未来のために

- 「ロハスの工学」の出発点 1-2
第10代工学部長に就任された出村克宣教授に、「ロハスの工学」の研究についてお話を伺いました。
- 留学生に聞く！工学部体験レポート 3-4
工学部に入学したばかりの留学生が体験した大学生活を紹介します。
- 在学生レポート 5-6
目標を見つけて頑張っている学生のみなさんをご紹介します。
- 好調！工学部の就職実績 7-8
平成19年度の就職状況や希望の就職を叶えた卒業生を紹介します。

- LOHASな工学部VOL.6
- 『ロハスの家』プロジェクトいよいよ発進！ 9-10
シリーズで紹介している「ロハス」に関する最新の研究をクローズアップ。
- ご父母のための行事 11
父母懇談会などのご父母のための行事をレポートしました。
- サークルTOPICS 12
体育会・学術文化サークル連合会などの活動報告。
- キャンパスライフレポート 13-14
物質化学工学科女子学生の大学生活を密着レポート！
- 工学部だより 15



人と地球の未来のために

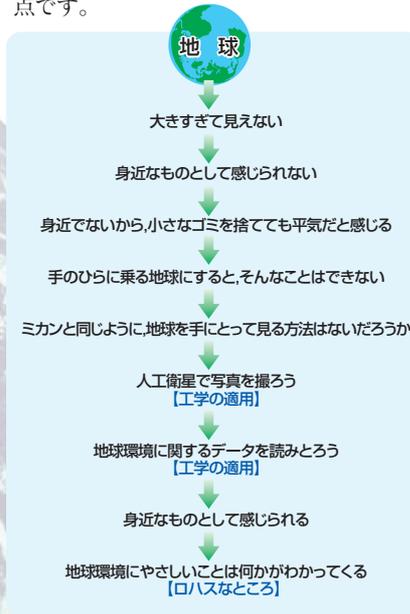
「ロハスの工学」の出発点

日本大学工学部長 出村 克宣

平成20年4月1日付で、出村克宣教授が第10代工学部長に就任しました。70号館に導入された雨水再資源化システムの開発のほか、水素の可能性に着目した“研究者”としての顔も持っている出村工学部長。今回は、工学部のテーマでもある「ロハスの工学※」についてお話を伺いました。

※本学部では、「ロハスな工学部」（ロハスを指向する学部）と「ロハスの工学」（ロハスのための工学）を区別して使っています。

点です。



とこそ、工学部のめざす「ロハスの工学」なのです。

工学部では、実際にさまざまな形でロハスの研究が進められています。『ロハスの家』プロジェクト(9頁参照)も、いよいよ今年から始まります。工学部の教授の中には、NASAの宇宙開発でも利用されているトライボロジーの研究や、DNAの持つ個人差を正確かつ迅速に診断できる遺伝子診断技術の開発など、世界レベルの研究に携わっている者もいます。そんな可能性に満ちた工学部というステージで、人と地球の未来を守りぬいていくのは君たち自身です。

良いことも悪いことも、都合の良いものもゴミも、すべてこの地球上に存在しています。そんな中で“心と身体、地球にやさしい生き方”を持続させることが、ロハス(LOHAS)の基本となる考え方です。

このロハスを工学と結びつけるには、一体どうすれば良いのでしょうか。キーワードは「人から遠いものを身近にすること」。たとえば1個のミカンを例にあげてみると、私たちにとってミカンはいつも手にとって見ているせいか、とても身近なものに感じられます。しかし、地球はどうでしょう。かけがえのない存在ではありますが、あまりにも大きすぎて見えないため、身近なものとして感じる事ができません。また、これとは逆に、人体の細胞や遺伝子などはあまりにも小さすぎて、やはり身近なものとして感じられません。このように人から遠いものを身近なものとして見えるようにすること。それが「ロハスの工学」の出発

建築や土木にも秀でた画家として“万能人”の異名をとるレオナルド・ダ・ヴィンチは、なぜ人体組織を探求したのでしょうか。それは、きつと見えないものを見ようとしたからではないでしょうか。その中身(本質)をよくわかっているからこそ描ける世界があるように、工学の分野でも自分の目で確かめて探求することが大切です。

“工学”というフィルターを通して、見えないものを見るものへ。人から遠いものを身近なものへ。そんな中から“心と身体、地球にやさしい生き方”を探求していくこ



出村工学部長の研究紹介

産学連携の一つの成果として、低温下で水素をつくることに成功

クリーンなエネルギーとして水素車や発電機、水素ボイラーなどへの利用が期待されている水素。水素は水の熱分解によっても採取できますが、2,500度以上の熱が必要なことから、製造コストは石油よりも割高です。

そんな高コストの問題を解決し、実用化への道を切り拓いたのが、出村工学部長と平山和雄教授をはじめとする研究グループと、環境技術開発ベンチャー企業(株式会社ライブニュー)が連携して開発した水素製造の新技术です。新しい技術では、独自に開発した特殊な触媒を使うことで、700度という低温のもとでも水素を製造することができます。これにより、たとえば工場の排熱を利用して、水素を製造することも可能になりました。この世界初の画期的な技術は、工学部敷地内にある「郡山地域テクノポリスものづくりイノベーションセンター(右の写真)」で生まれました。



世界の医療に貢献する“音”のコラボレーション



医療工学の発展に寄与する電気電子工学科尾股定夫教授は、海外でも一目置かれる研究者の

一人。7弦の電子バイオリン奏者で、科学者の口バート・アンソニー・アビルス氏とは、深い親交関係にあります。“音”を使った最新医療という共通の研究が二人を結びつけたのです。アビルス氏の奏でるバイオリンは「車椅子の子どもが歩けるようになった！」とも言われるように、音楽療法としての効果を発揮しています。この素晴らしい音楽を多くの人に聴かせたいという尾股教授の働きかけにより、6月29日(日)、そのアビルス氏を工学部に招いてコンサートを開催しました。癒しの音色に、会場に訪れたたくさんの聴



衆は、「元気になりました。」と明るい笑顔を見せていました。

「常に人間のための電子工学をめざしています。」と語る尾股教授。工学・医学・生物学を結びつけ、医療用センサや診断装置を開発しており、その成果はオリジナリティに富み、世界各国から注目を集めています。今年3月に、自分の声を共鳴させて、集中力や記憶力を高めることができる医療機器『ABR(Acoustic BioResonance) (仮称)』の試作品も完成しました。認知症やリハビリに役立つとして、医療現場でも期待が高まっています。



日本最大級の地球観測衛星「だいち(ALOS)」校正実験

本学部の環境情報解析研究室(情報工学科若林裕之教授)では、独立行政法人 産業技術総合研究所との研究協力で、人工衛星「だいち」に搭載されている合成開口レーダ(PALSAR)の校正実験を行っています。合成開口レーダ(SAR)は、霧や雲の有無、昼夜を問わず森林や海洋等の全球的な観測が可能であることから、陸地の状態を詳しく観測するとともに、地域環境計測や災害の状況把握、資源探査にも役立っています。若林教授は、本学部に着任する前、宇宙航空研究開発機構に勤務していた、合成開口レーダの開発や研究に携わっ

ていました。「校正実験を実施することで、地球や社会のために貢献できると思いますし、やりがいと責任を感じます。反射体の設置やデータ解析を通じて、学生たちにも貴重な体験になると思います。」と若林教授も実験に



意欲を見せていました。

実験は、本学部のグラウンドに反射体を設置して行われ、「だいち」の画像に写し込み、その明さを解析することによって、画像の精度を評価していきます。今年度は、7月27日(日)から観測を開始し、6回の校正実験が計画されています。



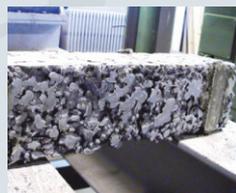
工学部初!! 日本学術振興会特別研究員に採用



創造性に富んだ研究者の育成をめざす独立行政法人 日本学術振興会の特別研究員制度。採用されるのは、6分の1程度という“狭き門”に、大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程3年の齋藤俊克さんが選ばれました。

屋上緑化や水質浄化などに利用されているポーラスコンクリートには、水や空気を通す透き間があり、その透き間が環境に

やさしい様々な性能を発揮する反面、強度や耐久性に問題があります。齋藤さんの研究は、その強度や耐久性を改善するために、長さ数センチほどの繊維を混入させて、性能を高める実験を行い、使用する材料の性質と調合割合からポーラスコンクリートの性能が推定できるようにする調合設計法を確立しようとするものです。ポーラスコンクリートを造る時の環境負荷低減を図り、更に、それを使う



ことによって地球にやさしい環境づくりに役立つことになります。

「自分がこれまで研究してきたことは、意味があることなのだ確信し、大きな自信につながりました。」今年中に博士論文を完成させることを目標に頑張っている齋藤さん。「将来は、人と地球にやさしい建築材料を創造できるような研究者として活躍したいですね。」





工学部体験レポート



新入生の皆さん、工学部に入学して3ヶ月が経ちましたが、大学生活には慣れましたか？今回は、留学生の二人に、工学部のキャンパスライフなどについてお話を聞いてみました。

モンゴルからやってきたアルタンビャンバさん

大学院工学研究科情報工学専攻 博士前期課程 1年

モンゴルの首都・ウランバートル市出身。地元の新聞に掲載された留学生募集の記事がきっかけで、かねてからの憧れだった日本への留学を決意。平成13年に来日し、静岡県の高校や大分県の大学を経て、今年の4月から大学院工学研究科で学んでいます。



? なぜ工学部を選んだの？

歴史に興味があったので、大分の大学では東洋史を勉強していました。その後、将来の進路について考えていたときに、ホームステイ先のお父様のご縁で、日本大学工学部のことを知ったのが、そもそものきっかけです。

みんな優しい人たちがかりだったので、すぐに工学部のが好きになりました。それに将来はモンゴルのためになることがしたくて、そのためにはやはり何か一つ技術を身につけた方が良くと思い、それならばということでITを学ぼうと決意しました。大学院へは一般入試で入ったのですが、合格できて本当に良かったです。



? どんなことを学んでいるの？

大学院工学研究科では情報工学を専攻し、ソフトウェア設計研究室でソーシャルネットワークを用いてグループメンバーの話し合いが活性化化する学習法について研究しています。とはいえ、私の場合、まだコンピュータの「あいうえお」を勉強しているようなもの。英語を日本語にしたような専門用語には、いまだに苦労しています。

現在は科目の履修もしているので、プログラムを作ったりするのは、まだまだ遠い先の話になりそうですが、パソコンそのものは、自分の生活の中でも欠かすことのできない存在になっています。IP電話を使って、モンゴルや静岡、大分などの友だちと話ができるのもパソコンならではの魅力の一つ。ネットワークでつながっていて、一つのコミュニティとして情報を共有できるのが、コンピュータのおもしろいところですね。



? 工学部の魅力って何？



学びの環境が充実していることは、工学部の大きな魅力だと思います。学生みんなが将来のことを考えながら頑張っているのが、キャンパスには「夢」が満ちているような感じがします。先生方も、とっても魅力的。何でも気軽に話ができ、まるで友だちのような感覚で一人ひとりの学生と向き合ってくれるのは、本当に素晴らしいことだと思います。

それから生活面で助かったのは、何とんでも病気のときですね。工学部は郡山市内のいくつかの病院と提携しているので、保険を使えば無料で病院が利用できます。勉強も生活も工学部なら安心。もっと多くの留学生に来てほしいですね。

? 郡山の環境ってどう？



郡山にきたのが3月ということもあり、これまで暮らしていた静岡や大分に比べて「寒い」というのが最初の印象です。だけど、気候という点では、「風の国」といわれるモンゴルと似たところがあって、どこか懐かしい感じがします。この時期は、よく阿武隈川の周辺を散歩するんですけど、なかなか気持ちいいですね。カエルの鳴き声もかわいい。

郡山は、東北の中でも中核となる都市の一つ。新幹線は通っているし、お店や学校も多くて、とても活気があります。これは郡山に限ったことではないのですが、お寿司やお刺身もおいしいですね。郡山の駅前にあるお寿司屋さんは大好きで、たちまちファンになってしまいました。(笑)

? 将来の夢は？

直近の夢としては、モンゴルの民族音楽である馬頭琴のコンサートを郡山に呼べたらと思っています。東京や大阪、長崎など、毎年日本では演奏しているんですけど、まだ東北ではやったことがないんですね。とても素晴らしいステージなので、いつかは実現したいと真剣に考えています。

将来的には、いずれモンゴルに帰って、日本大学工学部で学んだITの知識を活かしてモンゴルが豊かになるような会社や学校を作ることが目標です。できれば日本の企業と提携して、その素晴らしい技術をもモンゴルにも広めることができればと考えています。私自身がモンゴルと日本の架け橋になること。それが一番の夢ですね。



My Topics うねめ ミス采女

友だちからの誘いもあって、郡山うねめまつり実行委員会が主催する「ミス采女コンテスト」に応募したら、第44代ミス采女の6人のうちの一人に選ばれました。初仕事は、8月1日から開かれる郡山うねめまつり。そもそも郡山という街に興味があったので、とてもやり甲斐のある仕事だと感じています。郡山うねめまつりのあとは、さまざまな研修や観光キャンペーンなどで、全国各地をまわり、郡山の魅力を広くPRすることになっています。もともと旅行が好きなので、今まで行ったことのない場所に行けることがとても楽しみです。日本の皆さんにモンゴルのことを知ってもらうチャンスでもあると思います。できればパソコンを使って、もっと多くの人にモンゴルを知ってもらうためのホームページも作ってみたいです。



タイからやってきたノツパドンさん

機械工学科1年

タイの首都・バンコクに近いサムット・プラカーン県出身。将来は日本の自動車メーカーで働きたいと考え、タイ政府が行っている留学生を対象とした奨学金制度を利用して、日本への留学を決意。平成18年に来日し、東京都の日本語学校で語学を学んだ後、今年4月、日本大学工学部機械工学科に入学しました。



? なぜ工学部を選んだの？



もともとクルマに興味があり、日本に留学して自動車の勉強をした方が、将来、日本の自動車メーカーに就職しやすいのではと考えました。日本大学工学部を選んだ理由は、環境にやさしい自動車の勉強ができると思ったからです。環境の良いところでなければ、本当の意味で環境を学ぶことはできないと思います。郡山は自然だけでなく、都会に比べて人もやさしいので、生活もしやすく気に入っています。

? 工学部の魅力って何？

やはり、自分の興味ある自動車や機械全般を学べるのが一番ですね。いろいろな国の留学生も学んでいるので心強いですし、日本の友だちもたくさんできました。また、全国各地から学生が集まってくるので、その地方の方言とか、文化の違いを知ることができるのも面白いですよ。それから、ずっと何か楽器をやりたいと思っていたので、吹奏楽部に入りました。毎日トランペットを吹くことができ、とても充実しています。



? 将来の夢は？

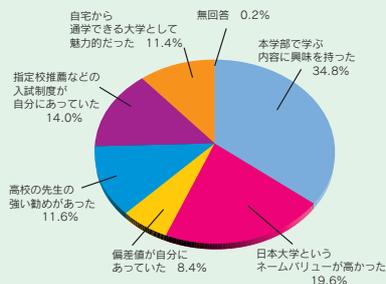


もし、自分が新しいエネルギーを開発できたら、とても素晴らしいことだと思います。毎日そんなことを考えていると勉強も楽しいし、どんどん夢も膨らんでいきます。太陽エネルギーを使った自動車や石油を使わない自動車など、環境に良い自動車はそれほどまだ普及していません。良い材料を使いながらもコストを下げ、みんなが環境に良い自動車に乗れるようにしたいですね。いつか、自分の開発した新しいエネルギーを使って走る自動車をつくり、タイで会社をつくらと思っています。

新入生アンケートから探る!工学部の学生事情

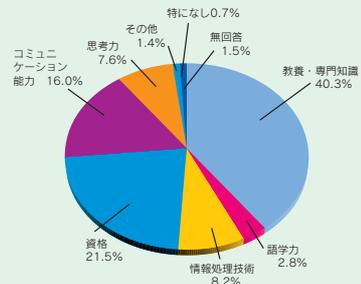
工学部に入学した学生たちは、どんなことを考えているのでしょうか。今年入学した1年次生のアンケートから、工学部の学生の本音に迫ってみました。

◆工学部を志望したきっかけは？



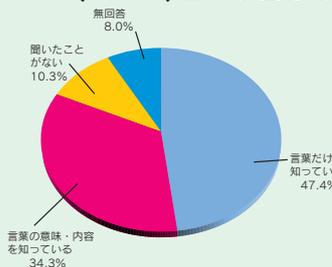
★学ぶ内容に興味を持ったという理由が最も多いのですが、日本大学という名前バリューも志望のきっかけになっており、就職に有利なスケールメリットも重要視されています。

◆将来のために一番身につけたいものは？



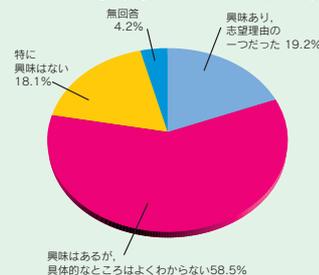
★教養・専門知識、資格が上位を占めるなか、コミュニケーション能力も高い数値を示しており、人間性豊かな人材育成をめざす工学部の教育との合致が伺えます。

◆LOHAS(ロハス)という言葉を知っていますか？



★他大学に比べて、工学部が推進する「ロハス」についての認識は高いと思われますが、意味・内容まで詳細がわかる学生はまだ少ないようです。

◆ロハスの取り組みについてのあなたの印象に近いものは？



★5人に1人が志望の理由にもあげている一方、興味がないという学生も同じくらいいるようです。興味がある学生も6割近くいるので、工学部の取り組みを通して、学生の皆さんにも「ロハス」を伝えていきたいと思っています。

在学学生レポート

「大学生生活をより充実したものにしたい。」「自分の夢を実現したい。」「スキルアップを図りたい。」など、工学部では、自分自身で目標を持って頑張っている人たちをクローズアップし、応援していきたいと考えています。そして、頑張っている人たちの姿を通して、皆さんにも何か目標を見つけて、どんどん挑戦してほしいと思っています。資格取得、サークル活動、自主活動、コンペなど、まずは自分のやりたいことから始めてみましょう。

テキサス大学でキャンパスライフ体験中!!

伊東 秀人さん(機械工学専攻2年)

現在、平成19年度日本大学大学院海外派遣奨学生としての機会を得て、University of Texas at Austin(UT)のMechanical Engineeringで研究に従事しています。UTは



テキサス州の州都オースティンに位置するテキサスで最大の大学で、多くの学生が学問に励んでいます。特にオースティンは、多くの研究所が密集しハイテク産業の都市として有名です。

高校生の頃から漠然と外国へ留学してみたいという気持ちがあり、大学、大学院へと進学して、最先端の技術を持つ米国でさらに研究を深めたいと思い、今回の機会を得ることが出来ました。米国には多くの人種・国籍の人間が混在していて、それに伴い多くの考え方が存在するということが実感したことの一つです。そのため、多くの議論を生み、活発な交流を生み出していることは非常に興味深いです。研究・語学も含め、色々な人との出会いは、一年前の自分には無かった柔軟で



新しい考え方・見方を私の中に成長させ、今後の大学生活、さらにはその後の人生にもプラスになると確信しています。

最後に工学部で学んでいる皆さん、そして工学部に入学しようと考えている皆さんが大きく飛躍し、皆さんの夢が少しでも現実に近づく様に祈っています。

ヨーロッパ研修を通して

菅原 雄太さん(情報工学科4年)



2週間のヨーロッパ研修はあっという間に世界遺産を10個以上も見ることが出来ました。イタリアの建物は都市によって異なりミラノは東京の様な建物もあり、ローマなど

は石造りで、景観を大切にしている為に街灯の色はオレンジ、昔の建物は壊さないで補強しています。フランスではパリのシンボルであるエッフェル塔、西洋の奇跡モン・サン・ミッシェルなどに圧倒され、また教科書でしか見たことのなかったモナリザなど数多くの美術品を目に焼き付けることが出来ました。その反面、貧富の差や治安の悪さなどが目立ち、日本にいることの幸せを感じました。

最後に研修を企画した日本大学工学部に感謝するとともに、トレビの泉で1回コイン

を投げることの言い伝え「再びローマに来ることが出来る」が叶うのであればもう一度今回のメンバー全員で戻りたいと心の底から願います。



英語力とコミュニケーション力が身につく

広瀬 陵丞さん(機械工学科2年)



中学の頃に海外でホームステイをしたことがあり、英会話を学びたいと思っていたので、「課外英会話講座」を受講しました。レッスン時間は40分で、毎日授業の空き時間を

利用しながら、学内で気軽に無理なく続けられるというのが一番の魅力です。また、先生方がとても親切で楽しく学ぶことができ、TOEICの点数も確実に伸びました。

今年は2年目になりますが、毎日ネイティブの英語を聴くことで耳も慣れ、早く理解できるようになりました。以前は、言いたいことを日本語から直訳していましたが、今では、どうしたらうまく伝えられるかを考えながら会話しています。ただ英会話が身につくだけでなく、英語でコミュニケーション力を養うこともできるのだと実感しました。

今後の目標は、もっとスピーキングをスムーズにするために、語彙や表現を増やしていきたいと思っています。

社会に出てから、必要となる能力なので、身につけておいて損はないし、一つのスキルとして自分の武器にしたいと思います。



就職に有利！FE試験合格をめざす

国際工学(PE/FE)同好会 代表 山田 達也さん(土木工学科4年)

国際工学(PE/FE)同好会は、技術分野での国際的職能資格である米国のPE(プロフェッショナル・エンジニア)資格の一次試験にあたる、FE試験の合格を目標とするサークルです。毎週土曜日の4時限に集まって、指導教員でPE有資格者のフンタラ先生の試験対策講義を受けたり、月曜日にはレファレンスブックを読み合わせし、説明文を理解し問題の解き方を勉強したりしています。どんな勉強をしていくかはみんなで意見を出し合って、進めています。当初10人に満たない人数で始まった同好会も、今年は1年から4年までたくさんの学生が入会し51名

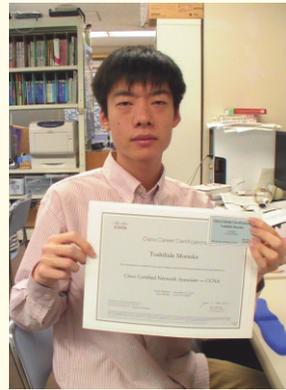


にもなりました。エンジニアとして必要な土木・電気・機械・物質など工学全般の知識はもちろん、出題が全て英語なので工学専門的な英語も理解できるようになります。海外で活躍したい人だけでなく、就職してから必ず役立つ資格だと思います。FEは大学4年の秋に受験でき、昨年は5名が合格しました。今年はさらに合格者を増やせるように、みんなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

※合格者の声をホームページに掲載しています。

CCNP試験に挑む！千里の道も一歩から

森岡 俊英さん(情報工学科4年)



CCNP(プロフェッショナル)試験とは、ネットワーク機器では世界No.1シェアを誇るシスコシステムズ合同会社実施する、全世界共通のインターネット技術者認定試験です。情報工学科の3年次のカリキュラム「ネットワーク管理技術及び実験」で、CCNA(アソシエイト)試験に対応したTCP/IPネットワークの知識や技術、機器設定方法などについて学びました。その結果、CCNA試験に合格。高度なネットワークスキルを身につける

つける機会はなかなかないので、これを機に独学で学習し、次のステップであるCCNP試験を受け、現在4つの分野のうち3つをクリアしました。最初は参考書を読んでも、全く理解できず、なかなか先に進むことができませんでしたが、何度も読み返すうちに頭に入ってくるようになりました。難しいこと、苦なことでも最後まであきらめずに、取り組もうとする意志を持ち続け、ゆっくりでもいいから自分の力にしていくことが大事だと思います。皆さんも、自分自身で何か目標を定め、それに向けてコツコツと努力し、達成できるよう頑張ってください。



あなたの力が徳定川を救う…。

衛生工学研究室 大塚 彰宗さん(土木工学専攻1年)・佐久間 琢さん(卒研)



清流が潤いある河川が流れるキャンパスを目指すという目的で始まった徳定川清掃も9年目。今年は5月31日(土)、土木工学科の衛生工学研究室・水理学研究室・水環境システム工学研究室・水域環境研究室が合同で行いました。しかし天候不順のために学内に規模を縮小して行いました。徳定川周辺には紙パックやタバコの吸い殻が結構落ちていて、河川内には予期しない物などもありました。これらを無くす為にも、清掃して清澄で潤いあるきれいな徳定川にしましょう。

毎年春季・秋季の年二回徳定川清掃をしています。学科・学年は関係なく徳定川を綺麗にしたいなあ、と思う方は16号館2階衛生工学研究室まで是非お越しください。あなたの力が徳定川を救う…。



「ロハシ」の輪を広げる

中村 真吾さん(機械工学専攻1年)



私自身、環境については以前から関心を持っていましたが、より意識し始めたのは大学に入ってからでした。スーパーで買い物をする度に、たまっていくビニール袋が気になり、学部1年の頃からマイバックを持つようになりました。車のアイドリングや、うがい手洗いなどの健康にも気をつけたり、自ら率先して「ロハシ」な生き方をしようと心がけていたと思います。My箸を使い始めたのは、昨年テレビで放送されていた、年間数百億本も使われている割り箸の問題が気になっていた頃、工学部オープンキャンパスで配られていた「LOHASHI(ロハシ)」を見たのがきっかけでした。

今年から加藤康司先生の研究に従事しており、私が「ロハシ」を使っているのを見た武樋孝幸先生の提案で、研究室の全員が「ロハシ」を使うことになりました。「ロハシ」を使うようになって、環境に対する意識が強くなりました。エコに取り組む人は、My箸は当たり前だと思います。私たちの活動が、工学部全体に浸透していくように、「ロハシ」の輪を広げていきたいと思っています。



好調!工学部の就職実績

ここ数年の景気回復に伴い、工学部の求人も増加している中、平成19年度就職状況も、学部で98.4%、大学院で99.1%と高い実績をあげています。早くから就職に対する意識を高め、CSNaviを使った就職情報の提供や、全国でも最大規模の工学部業界セミナーを実施するなど、さまざまな就職支援が活かされた結果といえます。

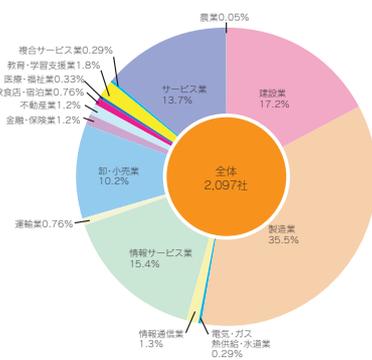
今年度もすでに多くの内定報告が届いており、引き続き好調を維持しています。

●平成19年度 学部・大学院別就職率

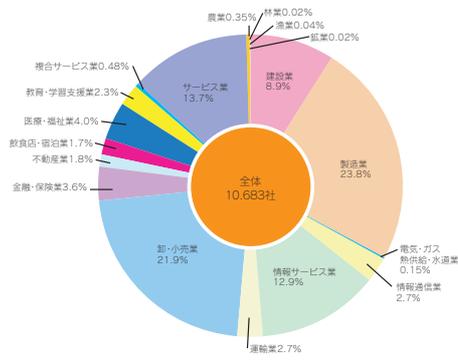
区分	土木	建築	機械	電気	物質	情報	合計
学部	就職者数 133(6)	160(33)	159(1)	141(5)	68(11)	122(10)	783(66)
	就職率 97.2%	99.0%	98.8%	98.6%	98.8%	97.8%	98.4%
大学院	就職者数 9	13(1)	18	12	20(2)	34(1)	106(4)
	就職率 100%	100%	94.7%	100%	100%	100%	99.1%

()女子内数

【工学部受付求人状況】



【日本大学本部受付求人状況】



●平成20年度公務員(地方)採用実績
30名(うち公務員対策講座受講者23名)

●平成20年度大学院進学
日本大学工学研究科102名,他大学進学6名

学科別の主な就職先(平成19年度実績)

土木工学科 土木工学専攻	建築学科 建築学専攻	機械工学科 機械工学専攻	電気電子工学科 電気電子工学専攻	物質化学工学科 物質化学工学専攻	情報工学科 情報工学専攻
(株)植木組 応用地質(株) (株)奥村組 小田急建設(株) 鹿島道路(株) 清水建設(株) ショーボンド建設(株) 西武建設(株) 仙建工業(株) 太平洋セメント(株) 大豊建設(株) 中央開発(株) 東鉄工業(株) 飛鳥建設(株) 西日本旅客鉄道(株) 日特建設(株) 福田道路(株) 復建技術コンサルタント 前田道路(株) 山崎建設(株)	(株)IINA新建築研究所 青木あすなろ建設(株) 安藤建設(株) (株)大林組 鹿島建設(株) 五洋建設(株) ジェイ・アール東海コンサルタンツ(株) 清水建設(株) 積水ハウス(株) 大成建設(株) 大和ハウス工業(株) 鉄建建設(株) 東急建設(株) 戸田建設(株) 西松建設(株) (株)間組 (株)フケタ設計 三井住友建設(株) ヤマハ(株) YKKAP(株)	アルプス電気(株) いすゞ自動車(株) N T N (株) N T N (株) 沖電気工業(株) (株)ケーヒン 三洋電機(株) サンデン(株) J F E スチール(株) J U K I (株) スズキ(株) 東芝電気力(株) 東芝メディカルシステムズ(株) 日本ケミコン(株) 東日本旅客鉄道(株) 日立住友重機械建機クレーン(株) (株)日立製作所 本田技研工業(株) 森永乳業(株) ヤンマー(株) レオン自動車(株)	N T N (株) (株)クレハ 相模鉄道(株) 昭和電工(株) 信越化学工業(株) ソフトバンクBB(株) 大明(株) (株)高岳製作所 T D K (株) 東光電気工事(株) 東北電力(株) 東レ(株) 日本貨物鉄道(株) バイオニア(株) 東日本旅客鉄道(株) 日立マクセル(株) 富士急行(株) 本田技研工業(株) (株)明電舎 (株)ユアテック	(株)旭硝子ファインテクノ 共立製薬(株) (株)クレハ 興国インテック(株) サンデン(株) 大和製罐(株) (株)タムラ製作所 (株)東芝 東邦化学工業(株) 東北ニプロ製薬(株) (株)巴商会 (株)ナカポータック 日東紡績(株) 日本特殊陶業(株) 日本電産コバル(株) 日本電産サンキョー(株) 日本防蝕工業(株) 富士特殊紙業(株) リンテック(株) 和光純薬工業(株)	(株)アイ・オー・データ機器 (株)アルファシステムズ N E C ソフト(株) NTTアドバンステクノロジ(株) NTTソフトウェア(株) (株)N T T データ (株)エフコム 共同印刷(株) セコムテクノサービス(株) 総合警備保障(株) (株)ソフマップ (株)東邦銀行 日本電気(株) 日本電産コバル(株) 東日本旅客鉄道(株) (株)日立情報システムズ 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 富士ソフト(株) 富士通(株) (株)U S E N

ミスマッチも防げるインターンシップ

直江 つかささん (物質化学工学科3年)



私がインターンシップを体験したのは2年次の夏休みでした。どんな職場があるのか、どんな仕事をするのかイメージが掴めず、学科の先生に相談したところ、独立行政法人 産業技術総合研究所をご紹介いただき、そこで1週間のインターンシップを体験することができました。配属部署では、大学では見たことのない機器や電子顕微鏡を使用して、ゼオライトを使った地球温暖化を防ぐ機能性材料の研究が行われていました。私はこれまで、漠然と研究者になりたいと思っていましたが、大学で学ぶということと実際に仕事をすることとは違うと感じました。また、自分に合うのは、人と接する仕事だと思えるようにもなりました。インターンシップを経験することで、自分の適性や本当にやりたいことは何かが見えたので、結果的によかったですと思います。他大学の学生と話す機会もあり、職場の雰囲気というものも味わえたり、普段の大学生活とは違う世界を体験できたのは、自分にとってプラスになりました。就活はできるだけ早く、積極的にアクションを起こすことが大切だと思います。

「ジコピー」で就活を有利にする

寺澤 名津紀さん(左)・郡 郁子さん(右) (電気電子工学科4年)

大学生が企画・運営する就職活動支援プロジェクト「ジコピー」は、東京を中心に全国に広がっています。昨年12月に合同企業説明会に参加したことがきっかけで、東北地区では、私たちが中心となって「ジコピー」の活動を行うことになりました。

自己分析は、就職活動を進める上でとても大事なことです。「ジコピー」は、他者とのコミュニケーションを通して「アウトプット・フィードバック」を行うことで、自分ではわからなかった自分の価値に気づいたり、普段から知らない人同士で自己PRしあうことで、実際の面接をスムーズに進めることができるというものです。エントリーシートも目に留まる書き方というのがあり、エントリーシートについてアドバイスをした友人は、見事選考を突破し内定につながりました。「ジコピー」に参加した人は早い段階に、いくつもの内定をもらっていましたし、もちろん私たちも希望する会社に内定が決まっています。

この経験を活かし、これからは「ジコピー」の輪を広げ、後輩たちをバックアップしていきたいと思っています。

※「ジコピー」についてのお問い合わせは就職指導課まで



大学で学んだことを活かして、希望の就職を実現させたい。どうすれば夢を叶えることができるのか。就職活動を前に、悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。そこで、今年3月に卒業したばかりの先輩に、どのように就職活動を乗り切り、希望の就職を叶えたのかを聞いてみました。

自分にさらに磨きをかけて、万が一の災害にも対応できる土木技術者になりたい。

新潟県佐渡地域振興局 樋口 航さん
土木工学科 平成20年3月卒業
(新潟県立上越総合技術高校出身)

土木は人々の暮らしに直結した学問

高校時代に学んだ土木の知識を大学でさらに深めたい。そう思っていた当時の担任に相談したら、その先生も日本大学工学部の出身で、受験を勧められたことが志望のきっかけです。大学では、道路や水道、河川など、多くのものが土木技術によって支えられ、安心した生活が送れていることを学びました。土木が人々の暮らしに直結した学問であることに誇りを持っています。

公務員試験対策講座は大きな強み

入学当初から就職するなら公務員という意識が芽生えていました。1～4年次まで公務員試験対策講座があるのは、日本大学工学部の大きな強みの一つ。なかでも3泊4日の合宿は、大きな自信につながりました。ほかの大学から県職員になった人たちに聞いても、公務員試験対策の一環として合宿を行っているケースはほとんどないようですね。土木工学科主催の公務員講座も、自分にとっては役立ちました。

就職活動では諦めないことが大切

若手職員との懇談会や職員採用試験ガイダンスなどに参加し、早い段階から情報収集に努めていました。本番の面接では、例えば県職員になったらこんなことが好結果につながったように、的確に答えられたことが良かったように思います。就職活動を進めるうえで大切なことは、何事からも逃げずに、決して諦めないことだと思います。

災害の前線で活躍できる土木技術者に

去る6月14日の岩手・宮城内陸地震では、大規模な土砂災害が発生しました。こうした局面では、まさに私が所属している砂防課が前線に立って、復旧や復興に全力を注がなければなりません。いつ何時、どんな災害が起きても迅速に対応できるような土木技術者になること。それが今の私の目標です。



— 内定までの道のり —

入学当初から公務員を意欲
2月頃 / 若手職員との懇談会
3月頃 / 新潟県職員採用試験ガイダンス
5月頃 / 本学部出身の新潟県職員によるマーケティング
6月下旬 / 第1次試験(教養試験・専門試験)
8月上旬 / 第2次試験(適性検査・個別面接等)
8月下旬 / 最終合格発表

グローバルな視点で、オンリーワンの技術者をめざしたい。

東レ株式会社 木村 修也さん
電気電子工学科 平成20年3月卒業
(千葉県立長生高校出身)



基礎を学んでこそ、専門分野の幅も広がる

日本最大規模の大学で、さまざまな人とのコミュニケーションを通じ、自分を客観的に見つめ直すことができると思い、日本大学工学部を志望しました。実家を離れて自立した生活が送れれば、社会人になるための準備が早めに行けると考えたことも理由の一つ。工学部では、すべての発見や発明の根底にある原理、原則を基礎として学びました。自分の専門分野の裾野を自発的に広げることができたのは、やはり基礎がしっかりしていたからだと思います。

会社を知ること、自分を知ること

就職活動のポイントは、会社を知ること、自分を知ること。何が強みの会社で、どんな人材を求めているのかを知ったうえで、自分は一体その会社で何がしたいのか、そしてどんなことができるのかを知ることが重要です。大学時代に何かに挑戦することで、自分の得意分野を増やしていくことも必要だと感じました。工学部の就職支援の中で役立ったのは、何となくCSNaviです。どの企業が、どんな分野の人材を必要としているのかをリアルタイムに把握することができるのは大きいですね。

技術を活かせるさまざまな分野がある

企業は今、若い技術者を求めているので就職するのに非常に有利だと思います。自分の専門以外の道にも可能性を広げられるのは、工学部出身者の強み。例えば電気電子が専門の人なら、あらゆる業種の電気に関わるでしょうし、土木が専門の人であれば、さまざまな企業の環境技術に関わることが可能です。

どうしてもこの会社でなければいけないというのでなければ、視野を広げて、心に余裕を持ち、就職活動を楽しむくらいの気持ちが大切だと思います。

技術者としてスケールの大きな仕事を

モノの原点ともいべき素材を扱う企業で、社会を支える一員として活躍できること。そこに大きな魅力を感じて、現在の会社を選びました。繊維だけでなく、先端材料でも世界一の企業になったので、スケールの大きな仕事ができそうです。将来はオンリーワンの技術者になって、世界を舞台に活躍したいですね。

— 内定までの道のり —

就職活動を楽しむ気持ちで
4月下旬 / エントリーシート選考
5月上旬 / 工場見学・SPI試験・1次人事面接・技術面接
5月中旬 / 適性検査・小論文・2次人事面接(グループ面接)
5月下旬 / 内定

自分の専攻分野を活かし、世界を舞台にした製品開発に携わりたい。

日東紡績株式会社 沼田 摩耶さん
物質化学工学専攻 平成20年3月修了
(茨城県立日立第一高校出身)

さまざまな観点からアプローチする力

JABEEをはじめとする教育システムが充実しており、規模が大きく、教授や学生も多いことから、新鮮で多様な考えに触れられると思って日本大学工学部を志望しました。大学では、一つの学問にもさまざまなアプローチの仕方があることを学びました。また、実験やレポートの作成を通じて、それぞれの結果やプロセスを振り返る力が身につきました。

工学部業界セミナーが大きなきっかけに

現在の会社を志望する決め手になったのが、大学にいながら多くの企業の人事担当者と面談できる工学部業界セミナーで、直接人事担当者の話を聞いたことです。多角的な事業を展開しているので、自分の専攻分野の研究はもちろん、ほかの分野でも新たな可能性を見出せると実感しました。この工学部業界セミナーのほかに、日本大学は知名度が高く、卒業生がたくさんいることも就職活動をするうえでの強みの一つだと思います。

就職活動で求められる積極性や主体性

本番の面接では、自分の専攻分野を活かせるかも知れないという思いが自信につながりました。また、人事の方が話しやすい雰囲気をつくってくれたので、リラックスして臨めたことも良い結果を生んだのだと思います。就職活動では、自ら情報収集に努めたり、自分から進んで企業に足を運ぶ積極性や主体性が求められます。

また、自己分析力やコミュニケーション能力、さらには計画の立て方や時間の使い方などといった自己管理能力も鍵を握ってきます。

海外でも勝負できる製品開発に携わりたい

長年の夢だった研究職、しかも自分の専攻分野が活かせる部署に配属が決まり、大変嬉しく思っています。今後、国内はもちろん、海外でも勝負できるような製品開発に携わっていきたいですね。

— 内定までの道のり —

工学部業界セミナーを有効活用
10月 / 説明会および作文
3月中旬 / 1次面接
3月下旬 / 2次面接
4月中旬 / SPI試験
4月下旬 / 最終面接
5月上旬 / 内定



『ロハスの家』プロジェクト いよいよ発進!



機械工学科教授 加藤 康司先生

今まで、さまざまな形で『ロハス』に取り組んできた工学部が、ついに大型のプロジェクト『ロハスの家』の実現に向けて動き始めました。

その推進役として、昨春工学部に招かれたのが、機械工学科教授 加藤康司先生です。東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程を修了され、その後、2007年3月まで東北大学で教育・研究に尽力され、東北大学名誉教授の称号を授与されました。また、日本学士院賞や数々の海外での栄誉賞、論文賞など、その功績は輝きを放っています。今回は、『ロハスの家』のプロジェクトリーダーとして、その概要についてお話を伺いました。

ロハスについて

「ロハス」とはいったい何であるか。その語源はLifestyles Of Health And Sustainability。頭文字をつなげてできたLOHASは、地球環境保護と健康な生活を優先し、人類と地球が共存共栄できる持続可能なライフスタイル、またそれを望む人たちの総称です。アメリカで生まれた「ロハス」は今やヨーロッパそして日本でも定着しつつあります。工学部がこの「ロハス」を旗印に掲げたのが、2005年のこと。2002年に日本に入ってきて間もない頃です。美しい自然環境や温かい県民性などが自慢の福島県の中で、工業都市として発展してきた郡山市。そんな自然と工業を共存させることが工学部の役割と考えています。

これからの工学に必要なことは何か、社会や人々の暮らしに大切なことは何かを考え、環境保全と循環型社会の実現と、そして人としての素晴らしい生き方をめざすために、『ロハスな工学部』が生まれたのです。

加藤先生の考える『ロハス』とは

現在、「ロハス」という言葉は様々なイメージで使われています。ロハスな服、ロハスな食品、ロハスなピープルなど環境意識や健康志向の高まりに併せて、多くの「ロハス」が誕生しています。それぞれの言葉に、考えや狙いがありますが、加藤先生の考える「ロハス」

は、ココロを大事にしています。

具体的には、ロハスのキーワードの一つに「健康な生活」があります。この「健康」とは、病にならなければ「健康」だという意味ではありません。

例えば、子どもやお年寄りが一歩も外に出ず、一日中テレビを見ていることが、健康的な生活と言えるでしょうか。技術の進歩は、人の暮らしを便利で楽なものにしてくれました。しかし、私たちは本来あるべき人間らしい生き方ができなくなり、いつしか精神的にも肉体的にも病んでしまったような気がします。

「私たちは食事をするとき、料理を作ってくれた人や食材に感謝し、食べることができる喜びを感じ『いただきます』『ごちそうさま』と手を合わせてきました。しかし最近、陽があたらない工場で大量飼育された鶏や、半身をそがれてピクピク動く魚を感謝の心無く食べています。」

昨今、食の問題はさまざまところで勃発しており、作り手のモラルが問われています。

「日本には昔から、鯨塚や鰻塚など捕食した動物たちに感謝し弔い祀った塚や墓が存在します。また、農業や漁業などで収穫したものを神社に奉納するなど、動植物を含め自然に感謝する文化が息づいていました。本来、私たち日本人が持っていた心の在り方は、今のロハスの考えに通じるものであったのです。」



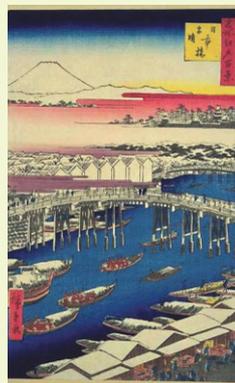
次世代工学技術研究センターにある動物慰霊碑

技術をマネることはできても、心を真似ることはできない

「江戸時代300年の鎖国による期間を含め、日本は独自の文化を熟成してきました。日本には、これまでに築き上げた高度な文化と深い精神がある。」

加藤先生は、日本人が築いてきた文化・暮らし方を再認識するとともに、現代における人間らしい生き方とは何かを提案しようとしています。

「戦後の日本は、欧米に追いつけ追い越せを目標として、急速な発展を遂げてきました。しかし、現在の日本は中国を始めとするアジア各国の発展により、追われる立場にあります。」



加藤先生は、もう一度日本の歴史や文化を振り返ることで、単に技術を駆使したハイテク商品の開発ではなく、どの年代の人も健康・健全な生活ができ、肉体的かつ精神的活動を支えることができる技術を創ろうとしているのです。

「持続可能な生活スタイル」を本気で考えることが総ての基本になります。

加藤先生の研究分野はトライボロジー。

今まさに活躍している、自動車・半導体・コンピュータ・人工衛星などに使われる部品の摩擦・磨耗を減らす研究です。2008年3月、加藤先生はその分野では世界で最も権威のある英国のトライボロジー・ゴールドメダル(日本人では5人目)を受賞されました。その先生が、今度は『ロハスの家』という新たな分野に挑戦しようとしています。



英国大使館においてトライボロジー・ゴールドメダルを授与された加藤先生

工学部がめざすロハスのカタチが見えてきた

客員教授等として約10年、工学部の動向を見守ってきた加藤先生は、2007年4月に日本大学工学部の教授として着任されました。「工学部がロハスをコンセプトにしたことはとても良いことだと思っていました。」と語る加藤先生。「自然と共生するということは、イコール原始的な生き方をすることではありません。自然を守りつつ、人も健康的な生活を持続することが求められます。今の私たちが病気になる前に原始的な暮らしができるでしょうか。それは無理なことです。そこで必要になってくるのが、現代人があまり無理をせず

に人の心と体にとって健康な生き方をするための新しい工学技術です。工学部キャンパスにそびえる発電用の風車は、このようなコンセプトを表すシンボルなのです。」



70号館のトイレ用水には、雨水再資源化システムを導入済

加藤先生は、工学部にある環境保全・共生共同研究センター、次世代工学技術研究センター、郡山地域テクノポリスものづくりリンクュベーションセンターなど、最先端の研究施設の実績を活かせば、高度で実用的な研究ができると考えられたのです。

ロハスの語源にある「Lifestyles」。『ロハスの家』は、それを実践するのに最もふさわしいテーマです。工学部のめざすロハスが、実際にカタチになって現れようとしています。

『ロハスの家』とは、どんなものが明らかに

『ロハスの家』とはどのようなものでしょうか。「コンセントが一つもない画期的な家になるでしょう。風車やソーラーパネル、雨水タンクやポンプのほか発電機、浄水器などを備えた6畳ほどの実験装置で、工学部キャンパス内に設置します。温度や湿度、空気清浄度を人間が快適な一定の範囲に保てるように、ホストコンピュータで管理された、イメージで言えば飛行機内のようなハイテク住空間といった感じでしょうか。」

『ロハスの家』のキーワード

- 1 健康
- 2 エネルギー自立
- 3 環境共生
- 4 持続可能

今まで依存してきた石炭・石油などの化石燃料、あるいは廃棄物を出す原子力ではなく、無限でゴミにならない風や水や地中熱などの自然エネルギーを有効に使います。また、70号館にも導入している、雨水再資源化システムを進化させ、トイレ・バスだけでなく飲水としての利用も考えています。さらに、生ゴミや排泄物をエネルギーとして再利用することで、排出物を出さない「自立型の家」をめざします。

どんなテーマも『ロハス』の研究になる!

『ロハスの家』は、機械工学だけでなく、土木・建築・電気電子・物質化学・情報など、すべての分野の工学に関わる学生たちが参加する大横断プロジェクトです。「大学4年間の学びは大きい。なぜなら自分の考えで、さまざまなことを選んで進んでいくからです。だからこそ、友だちも趣味も一生のものになるのです。」

まだ研究室に配属のない数多くの1年次生が、目を輝かせながら加藤研究室を訪れています。まるで部活動という感じです。

「研究を推進するのはいつの世も学部生、院生、助手といった若者たちです。」夢を実現し、社会を変えていくために必要なのは若い力。そうして生まれた技術は、大都市、日本全国、そして世界へ、未来へとつながっていきます。

「一人の一生は100年。だから、自分たちだけの幸せを考えたら、100年持てばいいかもしれない。しかし、これから必要なのは、次の世代の子どもたちまで持続できる技術です。大学とは、それを考えるところです。」

未来の子どもたちに、『ロハスの家』を贈れる日も、そう遠くはないでしょう。



どんなテーマもロハスにつながる
人力発電も研究テーマの一つ

ご父母のための行事

本学部では、ご父母の皆様にも教育方針や教育体制、また各学科での教育指導状況、個々の学生の修学状況などをご理解いただけるように、毎年、父母懇談会を開催しています。今年は年度初めの4月に、新入生のご父母を対象とした学部説明会と2年次生以上を対象とした父母懇談会を実施いたしました。当日の様子などをご報告申し上げるとともに、ご参加いただきましたご父母の皆様にも厚く御礼申し上げます。今後も、ご父母の皆様と大学が連携できる貴重な機会として、大いにご活用いただければ幸いです。



新入生のご父母を対象とした学部説明会

4月3日(木)の開講式に引き続き、新入生のご父母を対象とした学部説明会を行いました。ご父母の皆さまに、日本大学工学部について理解を深めていただくことを目的として、大学での勉強の進め方をはじめ、進路に関する大学のサポート体制や就職状況、大学院の案内、父母会による学生支援体制について説明いたしました。ご父母の皆様も時折メモを取られながら、熱心に耳を傾けていました。



平成20年度父母懇談会

今年で第41回目を迎える、工学部恒例の父母懇談会を、4月26日(土)郡山会場、5月10日(土)東京会場にて開催いたしました。400名を超える多数のご父母の皆様にお越しいただきました。



■学部全体説明

本年度、工学部長に就任した出村克宣教授がご父母の皆様にご挨拶した後、学部全体について説明を行いました。配布した父母懇談会資料をもとに、工学部の特徴や教育方針、就職状況、大学院進学などについてわかりやすく講話しました。特に就職状

況の話には、ご父母の皆様も関心が高く、工学部の高い就職実績を示したスライドを目を凝らして見ながら、感嘆するご父母の姿も見受けられました。

■学科別個別相談

各学科の教員が、ご父母一人ひとりと面談しながら、履修状況や進路についての相談に応えながら、工学部の教育や就職の支援体制を説明し、相互理解を深めました。成績表を見ながら教員からの説明を聞き、安堵する方や苦笑いされる方など、各教室の中で一喜一憂する風景が見られました。懇切丁寧な対応には、多くの方からご満足いただくとともに、こうした機会を持ち続けてほしいというご要望が寄せられました。



ご父母の声



栃木県
竹之内様ご夫妻(建築学科2年)

将来やりがいのある仕事に就けるかどうか、また大学ではどんな指導をしているのか、個人面談で聞くことができました。工学部では、年間を通してさまざまな就職支援体制を整えていることがわかりました。将来については、自分の夢を叶えてほしいと思いますし、大学でもさまざまな支援が整っているのがわかったので、今日は来てよかったです。



福島県
門馬様ご夫妻(物質化学工学科4年)

親元から離れて暮らしているの、どんな生活を送っているのか気になって毎年参加しています。新しい教室棟ができていたり、学びの環境を目の当たりにできるのも収穫の一つ。物質化学工学科で環境のことを学びたいという希望もあって、工学部を選びました。2月から研究室に入っているの、研究の内容や将来のことを本人にも聞いてみようと思っています。

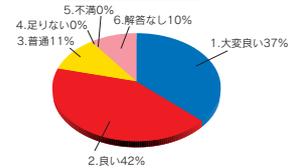


群馬県
御堂様ご夫妻(電気電子工学科2年)

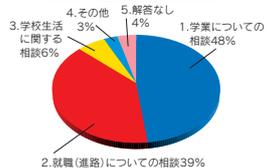
親としてもアドバイスできるように、成績やこれから学ぶ内容・コース選択について聞きにきました。自然に恵まれた環境の中で学べるのは、工学部の大きな魅力。大学生活では、信頼できる友だちをたくさんつくり、何ごとに対しても積極的にチャレンジしてほしいですね。あとは就職できるよう、しっかり勉強してもらえればと思っています。

アンケート集計結果

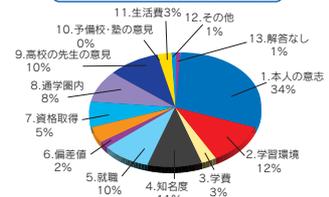
父母懇談会の感想



父母懇談会参加の目的



入学にあたり重要視したこと



サークル TOPICS



全日本学生剣道選手権大会出場!!

剣道部

植村 直文さん(情報工学科3年)



5月17日(土),18日(日)に行われた東北学生剣道選手権大会(個人戦)において、5位に入賞することができ、7月に行われる、全日本学生剣道選手権大会の出場権を得ることができました。このような結果が出せたのも、日ごろから稽古をつけていただいている監督の田崎先生をはじめOBの先輩方、部員の皆さんのおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。また、今冬に様々

な所で稽古をつけてくださった先生方にも感謝しています。

今回の試合内容を振り返ってみると、昨年の大会で負け、自分の気持ちの弱さを教えられました。今回はその事をバネに人一倍稽古してきたことに自信を持ち、獅子奮迅の精神を忘れず試合に臨みました。その結果、ベスト8に入賞し全国大会の出場権を得ることができました。全国大会では東北地区の代表として、また本学部の名に恥じぬよう頑張ってきたと思います。



南東北大学野球連盟2008春季リーグ戦を振り返って

硬式野球部 主将

一戸 隆一朗さん(土木工学科4年)

本学部硬式野球部が所属している、南東北大学野球連盟の2008春季リーグ戦が、4月19日(土)いわきグ



リーンスタジアムで開幕し、6週間に渡り行われました。春季リーグ戦を振り返ってみると、福島大学、東日本国際大学にそれぞれ1敗はしたものの、

順調に勝ち星を上げていき、8勝2敗でリーグ戦10試合を終了しました。8勝2敗で東日本国際大学と同率首位となったため、5月25日(日)、開成山球場で代表決定戦を行いました。3対2で敗退し、全日本大学野球選手権出場はなりません。非常に悔しい思いをしました。部のモットーは「感謝の気持ち」であり、多くの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、今後も日々精進していきます。そして、秋季、来年へと気持ちを切り替え練習していきたいと思っています。今回のリーグ戦に際しまして、

皆様からいただきました絶大なるご支援、ご声援に対し選手一同心から感謝いたしております。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

今後の詳しい日程等は連盟ホームページをご覧ください。<http://www.mtu-bbl.jp/>

〔個人賞受賞者〕



一戸 隆一朗 (土木4年) 伊勢田 一勝 (土木3年) 五十嵐 謙 (土木3年) 赤峰 克紀 (建築3年) 増淵 康将 (建築3年)



環境美化に伴う学内清掃について

学術文化サークル連合会執行部委員長

金澤 正樹さん(情報工学科3年)

学術文化サークル連合会、体育会、北桜祭実行委員会主催による学内環境美化活動を6月2日(月)から6日(金)までの5日間行いました。



環境美化活動は毎年6月に行っており、本館、ハットNE、8号館から16号館、70号館を中心にタバコの吸殻、ペツ

トボトル、空き缶などを拾いながらキャンパス内をきれいにすると共に、歩きタバコやゴミのポイ捨てを注意するなどの学生への学内環境美化への意識向上を目的として活動を行いました。この活動を行う中で学生の色々な反応を見ることができました。無視、迷惑がる、笑うなどほとんどの学生が無関心中、一部の学生は私たちが拾うより先にゴミを拾ってゴミ箱に捨ててくれたり、歩きタバコをする友人を注意するなど、環境美化活動を意識してくれている姿が見られました。私たちは今年からこの活動

回数を増やすことで、普段、無意識にポイ捨てや、何気なくゴミを放置してしまっている学生も自分たちが通っているキャンパスを綺麗にすることに意識を向ける機会を増やしていきたいと思っています。



Heart Warming

第58回北桜祭実行委員会委員長

中島 敏真さん(機械工学科3年)

北桜祭も数えること今年で58回を迎えることになりました。これも今までご協力くださった皆様、並びに、ご来場の方々のご支援があったからこそ、いままで57回の北桜祭では大成功を収めることができました。

10月25日(土)、26日(日)に行われる第58回北桜祭では、去年の北桜祭から一歩進んだつながりの後にある「Heart Warming」(心温まる)関係を目指し、家族、友人、地域とのつながりをより一層深めたいという意味を込め、テーマを『Heart Warming』に決めさせていただきました。

私たちの目標は、来場者の方々にはもちろんのことですが、運営している実行委員からも笑顔が出てきて、心が温まるような北桜祭を作り上げていくことです。



ぜひ北桜祭に足を運んでいただいて、心温まる何かを持ち帰っていただきたいと思っています! 皆様のご来場を心よりお待ちしております!

北桜祭ホームページ

<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/hokuouai/>



Enjoy編

昼食は仲良しの北村さんといつも一緒♥



ランチタイム

お昼は友だちと学食でランチタイム! 学食が混んでいるときはハットNEの2階にある談話室を利用しています。静かでゆったりできるので、穴場なんですよ!

やっぱりテニスって楽しい!!



買物はいつも郡山駅周辺です♥



オフタイム

休日は課題やレポートに追われています。でも、やっぱりファッションには興味津々ですよ。S-PALやMOLTIでイマドキのファッションアイテムをチェック!



サークル活動

中学からずっとやっていたテニス。高校の時、途中でやめてしまって後悔したので、大学では絶対に頑張ろうと思っています! ソフトテニス部はフレンドリーでやさしいばかり。和気あいあい楽しんでいます!



小旅行

地元埼玉県には海がないけど、福島県には海や湖があつていいですね。5月にはいわきまで友だちとドライブして海を見てきました。キレイでしたよ!



一人暮らし



規則正しい生活を心がけています!!



初めは、少し淋しかった一人暮らしも、友だちができてからは楽しくなりました。キャンパスから歩いて3分、1Kですが洋室10帖くらいの広々した部屋にエアコンもついていて4万ちょつとはかなり安いと思います。

私のオススメ

簡単レシピ



材料/豚肉少々・野菜炒めの残り(キャベツ・タマネギ・ピーマンなど)・ご飯トマトケチャップ・塩こしょう

- 作り方
- ①熱したフライパンに油を入れ豚肉を炒め、火が通ったら野菜炒めを加えてサッと炒めます。
 - ②さらに塩こしょう、ケチャップを入れます。
 - ③ご飯を入れてまんべんなく混ぜたら皿に移します。
 - ④卵オムレツを作ってご飯の上のせ、ケチャップをかければ出来上がり。卵でご飯を包むのは難しいけど、のせるだけなので簡単です!

Real Voice!

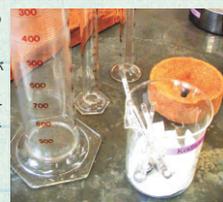


? 工学部に入ったきっかけは?

日大は有名だし、同じ学科以外にも高校の先輩がたくさん学んでいるので、高校の先生からも勧められて工学部を選びました。オープンキャンパスに来たとき、先生方の対応がとてもよかったのも理由の一つです。

? なぜ物質化学工学科を選んだの?

文系より理系の勉強の方が好きなんです。答えが一つだから。それに環境問題は社会的にも大きなニュースになっていて、環境について学んでおけば、きっと将来役に立つと思います。



? 将来の夢は何ですか?

環境に限らず、福祉や医療など、どんな仕事でもよいので、人のためになる仕事に就きたいですね。大学生活でいろいろな人と出会い、やはり人と接することが好きなんだと思いました。



? 後輩のみなさんにメッセージを!

材料でも現象でも、化学は何にでも関わってくるので、幅広く奥が深い学問だと思います。だから、本当に好きな人に学んでほしいと思います。



工学部キャンパスの桜を地域の皆様にも

4月12日(土)から4月19日(土)まで、桜の開花に伴うキャンパス一般開放を行いました。この行事は、正門から本館にかけての桜並木を地域の皆様に観覧して楽しんでいただくことで、地域との交流を深めるために毎年行っているものです。見頃となった4月13日(日)には、学生駐車場を開放し、回子の無料配布も行いました。現在、工学部ホームページでは、「桜フォトギャラリー」を開設し、キャンパスのさまざまな角度から写した桜の画像を公開しています。是非ご覧ください。



新入生学外研修

新入生が大学生活に早くとけ込めるように、1泊2日の学外研修を4月9日(水)・10日(木)に行いました。県内の観光地や施設などを見学するとともに、学生と教員、並びに学生相互の親睦を図ることができ、充実した研修となりました。



ミス采女に選ばれる

郡山市の魅力を県内外に広く発信する第44代ミス采女に、情報工学専攻1年アルタンビャンバさん(右)と物質化学工学科3年直江つかささん(左)が選ばれました。8月1日(金)から開催される「うねめまつり」を皮切りに、海外研修や各種観光キャンペーンなど、多彩な活動に携わりまします。二人とも「さまざまな人との出会いや経験をを通して成長したい。」と意気込みで満ちています。



最終講義 田野久貴先生(土木工学科)



5月24日(土)、70号館7014教室において田野久貴先生の退職記念最終講義が行われました。土木工学科主任の長林教授からプロフィールの紹介、そして、東海大学のアイダン・オメール教授からは田野先生との海外共同研究、特にトルコにおける地すべり調査についての話がありました。

次に、田野先生より「亀裂をもつ岩質材料強度の確率論から岩盤モニタリングへの道 - 岩盤地質工学研究室の34年小史 -」と題しての最終講義が行われ、天文少年の挫折、地質工学と土木工学の狭間、脆性材料や岩盤の不均質性と強度に関する興味、岩盤モニタリング、トルコへの道、自然界からの信号についての話がありました。

約70名のOB・OGの参加があり、卒業生は当時の卒業研究の内容や写真を懐かしく見入っていました。また、トルコ国立パムツカレ大学名誉教授授与式での赤いマント姿と学位記を披露していただきました。

春の叙勲

長年にわたる教育・研究に対する功績が認められ、本学名誉教授の木村喜代治(きむらきよじ)先生が瑞宝中綬章を受賞しました。先生は、工学部次長や日本大学東北高校長、日本大学協議員、工学部企画担当などを歴任、学生の教育と学部運営に尽力されました。また、浮遊土砂量の算定法の考案や河川整備事業の審議委員を務めるなど、土木工学の進展および地域の発展にも貢献されました。



研究奨励賞・阪本研究刊行助成賞・阿部賞を受賞

工学研究科博士後期課程電気電子工学専攻に在学中の春田峰雪さんが、5月8日(木)、第47回日本生体医工学会大会にて、2007年度日本生体医工学会 研究奨励賞・阪本研究刊行助成賞・阿部賞を受賞しました。これらは、学会の定期大会において優秀な論文を発表した35歳以下の研究者に贈られる賞で、対象となった論文は「血管内用ハプティック型カテーテルセンサの開発に関する研究」です。医学・医療と工学の連携から新しい研究領域において、大きく貢献する研究として高い評価を受けました。所属する医療工学研究室の尾股定夫教授とともに喜びを分かち合いながら、春田さんは「今後の研究の励みになります。」と語っていました。



五十嵐美克准教授が『禪とオートバイ修理技術』を邦訳

総合教育 五十嵐美克准教授が、世界27か国で500万部を上回ったロバート・M・パーシングの伝説的名著『禪とオートバイ修理技術』を邦訳しました。原著は1974年に出版され、1990年に先生が邦訳された後、10年近く絶版となっていました。復刊の要望が強く2008年2月にハヤカワ文庫から改訂・復刊されました。オートバイや「自分探しの旅」に興味のある方は、読んでみてはいかがでしょうか？



教養講座を開講しました

各界の著名人を講師として招き、次代を担う教養豊かな人材を育成することを目的として、毎年、教養講座を行っています。今年度は5月から6月にかけて、4回開講しました。

第1回目の講師としてお越しいただいた、アテネ五輪アーチェリー銀メダリストの山本博氏は、「成功を呼び寄せる方法とは」と題して、アーチェリーを通して学び取った成功の秘訣についてお話いただきました。「あらゆることに真剣になる。」「自分を変える勇気を持つ。」など、いくつかのポイントを教示し、会場に集まった学生・市民に希望を与えてくださいました。

教養講座には延べ2,890名(4講座)の受講をいただきました。来年も、さらに魅力ある講座にしていきたいと考えています。



公開講座を開講します

大学のキャンパスでライフワークに役立つ工学知識やスポーツを学べる公開講座を7月26日(土)から開講します。一般の方々並びに本学学生を対象とした講座で、受講料は無料ですが、受講に当たっては、往復はがきによる申込が必要です。詳しくは工学部ホームページの一般向け講座案内をご覧ください。

【講座内容】

1. ロボットを作り、ロボットと遊ぶ
2. 夢化学21
【化学への招待～最新環境化学分析】
3. ヒト生殖補助医療・体外受精の最新線
4. 初心者を楽しむアーチェリー講座
5. 初心者のためのゴルフ教室



□人事

新採用者

機械工学科
准教授 彭 國 義
(平成20年 4月 1日付)

土木工学科
助教 仙頭 紀明
(平成20年 4月 1日付)

昇 格

土木工学科
教授 渡辺 英 彦
(平成20年 4月 1日付)

建築学科
教授 浅里 和 茂
(平成20年 4月 1日付)

異動(所属変更)

物質化学工学科
教授 齋藤 烈
(平成20年 4月 1日付)

庶務課
主事補 相場 順一
(平成20年 4月 1日付)

機械工学科
助教 武 樋 孝 幸
(平成20年 4月 1日付)

物質化学工学科
助教 平野 展 孝
(平成20年 4月 1日付)

建築学科
准教授 サンジェイ・バリーク
(平成20年 4月 1日付)

物質化学工学科
准教授 児玉 大 輔
(平成20年 4月 1日付)

庶務課(役職室)
主事補 福内 由美
(平成20年 4月 1日付)

管財課
主事補 佐久間 真一
(平成20年 4月 1日付)

総合教育
助教 中島 唯 仁
(平成20年 4月 1日付)

総合教育
准教授 乙藤 隆 史
(平成20年 4月 1日付)

総合教育
准教授 金 里 美
(平成20年 4月 1日付)

図書館事務課
書記補 眞壁 直也
(平成20年 4月 1日付)

研究事務課
書記 佐藤 丹月子
(平成20年 4月 1日付)

役職任命

教務課課長補佐
主事 真船 守 人
(平成20年 4月 1日付)

研究事務課主任
主事 桑原 学
(平成20年 4月 1日付)

土木工学科
専任講師 子田 康 弘
(平成20年 4月 1日付)

図書館事務課
参事 今津 正 人
(平成20年 4月 1日付)

高校事務課
主事 中畑 光 正
(平成20年 4月 1日付)

高校事務課主任
主事 柁 淵 吉 幸
(平成20年 4月 1日付)

会計課
主事補 小 貴 絵 美 子
(平成20年 4月 1日付)

庶務課
書記 間 友 恵
(平成20年 4月 1日付)

称号授与(名誉教授)

機械工学科
元教授 小野沢 元久
(平成20年 4月 3日付)

未来へ語り継ぎたいものがある
工学部広報

編集:日本大学工学部広報委員会
発行:日本大学工学部 TEL(024)956-8614
〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1
http://www.ce.nihon-u.ac.jp/ E-mail koho@ao.ce.nihon-u.ac.jp

2008 No.223 平成20年7月17日 ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。